

◆分散型TEKU-TEKUその4★上野～御徒町～秋葉原企画（活動記録）◆

企 画■歩行者空間と高架下利用（上野～御徒町～秋葉原を歩く）

日 時■企画説明 2021年3月20日（土）20:00～22:00（オンラインにて開催）

歩く期間 2021年3月22日（月）～4月30日（金）（この間に各自で歩く）

標準コース■特に設けず、鉄道高架線に沿って7つの評価対象ポイントを巡る。

評価対象：①上野駅新公園口、②上野の森さくらテラス・UENO3153ほか、③アメヤ横丁、

④御徒町駅南口西地区、⑤2k540、⑥SEEKBASE+CHABARA、⑦秋葉原駅電気街口一帯

評価提出■◎大竹 亮+栗原 徹、安藤 文、石井光一、磯田尚子、井手幸人、小場瀬令二、梶川義実、原 久子、藤井正男、藤井幹也、古里 実（以上12名、◎コーディネーター）

企画主旨■今回は、鉄道駅を中心とした歩行者空間の整備と高架下の利用を採り上げます。日本の都市の駅前には自動車中心の交通広場が主流でしたが、近年では欧米方式の歩行者のための広場も増えています。そこで、最近整備された駅前歩行者空間として、上野駅の新公園口、御徒町駅の新南口広場、秋葉原駅の電気街口広場を巡ります。また、東京都心部では上野・飯田町・汐留・両国橋の4大ターミナル駅を結ぶために、戦前に市街地高架鉄道が整備されました。その高架下は、庶民的な一杯飲み屋が並ぶ場所でしたが、近年ではそのスペースも工夫を凝らした活用が始まっています。上野・御徒町間の戦後闇市を彷彿とさせるアメヤ横丁から、御徒町・秋葉原間のモノづくりやマニア文化に対応した新しい施設まで、その多様な空間を実体験したいと思います。大勢の人が集まる駅前広場や高架下の活用可能性について、実際に歩いて考えてみませんか。

1◆上野駅新公園口+歩行者広場（新駅舎、広場、公園との関係など） 評価:4.83 内訳:AAAAAAAAAAB

評価A●上野駅の公園口から車道を渡らず、まっすぐ上野公園に行けるようになった。車の通り抜けを完全に無くしたことは、従来の車中心の発想ではありえず、画期的だと思う。

評価A●公園口改札と上野公園との一体性、眺望の良さ、開放感、安全性の点で素晴らしいと思う。銀杏の大木が保全されているのもいい。懐かしい東京文化会館の屋根と上野駅舎の屋根の形が呼応しているのも楽しい。公園口改札と交通量の多い道路との間に人が滞留していた以前からの様変わりに、何度訪れても嬉しい驚きを感じる。

評価A●歩行者広場が駅公園口からフラットに整備されて、前川國男の東京文化会館やコルビュジェの西洋美術館が近くなり歩きやすくなっている。駅舎のデザインは縦のフレームが効いている。

評価A●駅から公園方向に入る際に必ず渡っていた横断歩道が無くなり、自由に行き来出来るようになったのが最大のメリット。車の通り抜けを止める施策は良く実施できたと思う。他の駅前ロータリーでも同様に出来る場所はあると思われるが、なかなかここまでは難しいのでは。

評価A●歩行者中心の考え方がよく、公園への動線を歩行者に優しく、かつシンボリックにしている。

評価A●駅と公園広場が一体になって広々としてとてもよい。公園側のチケットの売店が残念。売店が移動してくれとコルビュジェの西洋美術館とも視線がつながるのだが、駅も圧迫感のないデザインとして頑張ってくれたと思う。乗り降りの機能だけのおまけ的だった公園口がとても良い空間になった。このような駅前パターンがどんどん各地に広がるとよいと思う。地面の素材(タイル)が前川國男の素材と統一されていたこともリッチな空間要素となっている。

評価A●駅と公園との一体感が生まれている。信号待ちによる改札口付近の滞留も解消されるので、安全性も高まった。ただ、山下口から線路沿いに歩くことが出来ず、一旦、公園側に道路を横断しなければならないのは不便。

評価A●駅と上野公園が一体となり、とても使いやすくなった。駅舎の2階からの公園側の眺望は素敵です。なぜこちら側に店舗を設けなかったのでしょうか？



上野駅新公園口駅舎と歩行者広場



上野駅新公園口2階から上野恩賜公園を見る

評価A●駅と公園が歩行者広場で直結したのが素晴らしい。改札口を出ると正面に上野公園の中心通路軸が伸び、前川國男やコルビュジェの名建築にふさわしい前庭となった。新駅舎のデザインも、高さを抑えてシックで好感が持てる。従来の公園口には広場もなく、すぐに信号待ちして道路を渡る必要があったし、渡った後も狭い歩道を進むので非常に不快だったが、これで美術館やコンサートに行く楽しみも増えた。ただ、山手線ホームの一番端にしか階段がないのは、従来の公園口に比べて唯一の不便になった点だ。

評価A●上野駅の新しい顔ができたような気がします。従前の公園口もコンサートの後などは別な駅の様相でしたが、駅前が広々としたことによって文化の香り高い空間になったのではないのでしょうか。ちょっと2階のお店が寂しい気はします。広場側から、新駅舎とスカイツリーと一緒に見るとは気づきませんでした。

評価A●ちょっと改札口をずらしただけで、格段の進歩。やったかいがありましたね。

評価B●新公園口のデザイン等は今一つですが、今まで待合せ場所は東京文化会館の前しかなかったため、ごった返していました。また、バス旅行の集合場所は新しい公園口付近で、以前の改札口からは遠かったです。その点で、集合場所、公園に直接行く人など動線をきちんと分けた大変便利なものに思います。

2◆上野の森さくらテラス+UENO3153他(公園の立体的利用) 評価:3.83 内訳●AAAAABBBBBBBB

評価A●3棟の建物がきちんと高さを揃え、公園の良さを壊さないように建替えたことに感服。以前は駅側からは「看板が建物」といった印象でしたが、建替え後は抑えられて良くなりました。

評価A●雑然とした印象しかなかった駅前が洗練されてきた。地形を逆手にとって商業ビルと公園へのアクセスを確保した秀逸な建築物と思った。

評価A●子供の頃に電車から見て「ビルの上に公園?!」と不思議だったが、建て替えられて駅前の賑わいと屋上の公園利用を継承できた。加えて3棟とも駅と公園の近道になる建物内通路を確保し、それもエレベータ、中庭エスカレータ、外部階段と各種工夫している。高さや壁面の揃った3棟のデザインも多彩で楽しい。

評価A●以前もそれなりに両者の一体感があったと思うが、景観的にもよい。入りやすくなったと思う。

評価A●崖沿いの店舗の景観が良くなった。また、最上階から見る電車の光景いいですね。

評価B●以前の風景は映画の看板の垂れ幕の空間でした。再開発されて、バンブーガーデンの階段など上野公園と一体化したような気がします。

評価B●建物の屋上と公園とを一体化させ、エスカレータを昇ると公園というアクセスがとてもいい。

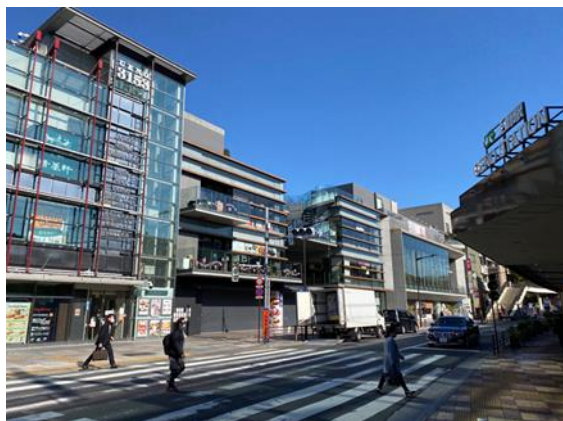
評価B●さくらテラスの真ん中を通る不思議な階段を歩道側から上ると、こんなところにつながっていたなんて新鮮な気がする。飲食店(昨年利用)の窓から、上野駅のホームや電車の往来が間近に見える光景も、森と駅をつなげている。

評価B●公園との立体利用の中に上野恩賜公園と上野駅へのアクセスを配慮していることがわかる。ファサードは上野の森さくらテラス、UENO3153など3棟がそれぞれのデザインになってしまっている点が、もう少しなんとかならなかったのかなと思う。

評価B●各建物とも凹凸があり、圧迫感のない軽やかなデザインで良かった。JRの駅にも頑張ってもらいたい。駅側と両サイドで広場感が出ると良い感じになる。テラスの前と歩道、また駅側の歩道と地面の素材を合わせたらとても良いと思う。緑の森の中に埋まるようなデザイン、上野の山、森を意識できるデザインでも良かったのでは。

評価B●屋上緑化と公園を繋げるアイデアは素晴らしいし、非常口としても万全。ただ他所でもどうかと言えば、これはこの地形ならではのモノ。見た限りではビル部分と公園を行き来する人は見当たらず、活用度は低い。

評価B●高齢の親などはUENO3153のエレベータができて、どれほど助かったかしれません。桜の季節に山をのんびり下りるのは楽しいのですが、やはり大変だったようです。



3棟が並んで駅前の賑わいづくりに貢献



3棟の屋上は上野公園と一体的に利用

3◆アメヤ横丁（アメ横通り、高架下ほか）

評価:3.66 内訳●AAAAABBBBBBC

評価A●アメヤ横丁のメインストリートや高架下だけでなく、上野中通りや線路の反対側まで、賑わい空間が面的に広がっている。1階が店になっている徳大寺や「ダンケ」のある路地空間など、とても魅力的。

評価A●通りの風景を含めて商売自体も昔ながらの形態を維持。コロナ禍の中でもかなりの集客力があり賑わっていた。元祖高架下利用、未永くこの賑わいが続くことを期待したい。

評価A●ここは町として楽しいので、デザインや機能としては違うかもしれませんが、毎度、発見があります。謎の珈琲屋のDANKEを出て、脇道をいくと何故かアメ横の靴屋の店内になり、そこを人か通っていました。

また、これだけの喧騒の中でぽっかり空いた空間の摩利支天徳大寺などものスポットがあることも。

評価A●気取らなさや多国籍、複雑で猥雑、広域、立ち上る鮮魚の香り。発見がある。

評価A●平日夕方の訪問だったが、変わらず活気がある。

評価B●コロナ禍で人通りが通常より少なかったですし、線路下の店舗では少し人の間を空けてましたが元気！！でもアメ横は人混みがにいますよね。

評価B●アメ横の高架下をちゃんと見たことがなかったので、たぶん震災直後からであろうしたたかなアジア的利用に感心してしまった。

評価B●アジア的賑わいで、人とのふれあいがあり、面白い。

評価B●表通りを歩いただけで全貌をつかむのは困難であるが、アジア化、エスニック化が進んでいる。

評価B●昔から知っていたが、掘り出し物を値切って買うイメージがあって足が遠かった。久しぶりに行ってみると、高架下と沿道のビルがうまく組み合わさって、バザールの雰囲気演出してとても賑わっている。

評価B●コロナ禍の中すごい人出、いいんですね（ということでB）。

評価C●昼からオープンエアの宴会で、異様な賑わいでした。



アメヤ横丁のメインストリートとセンタービル(右)



衣料・雑貨・宝飾店が並ぶアメヤ横丁の高架下店舗

4◆御徒町駅南口西地区（松坂屋南館、吉池建替、歩行者広場など） 評価:3.83 内訳●AAAAABBBBBBBB

評価A●区画整理事業で減歩するのではなく、区道を集めて駅前に広場をつくる発想が素晴らしい。広場に面する建物は駐車場棟だが、1-2階を店舗としデザインにも配慮しており、居心地の良い広場空間を演出している。

評価A●駅前にこれだけの歩行者広場があるのは、ほっとする。敷地整序型区画整理事業によるパンダ広場の整備は、行政と松坂屋（再開発）が互いにwin-winの関係になる仕組みによって実現していることに感心した。松坂屋が廃止した道路を通路として生かしている点も素晴らしい。

評価A●吉池がユニクロになったみたいです。吉祥寺ユニクロは佐藤可士和のデザインと聞きましたが、似たような感じですね。松坂屋の駐車場ビルは、外見的にそのようには見えない工夫を感じます。裏口だった南口ですが、メインの改札口みたいです。建物を抜ける道路も面白いです。

評価A●いつの間にか広場がでていたイメージがある。公有地と民地の区分があることは一般には知られていないであろうが、好事例として広めたい。

評価A●関係者の努力の結晶ですね。この広場が有効に利用されることを祈ります。

評価B●道路を移動して広場を生み出したことは評価ができる。植栽を増やし木陰をつくるなど広場のデザイン面でももう少し頑張ってもらえたら、より豊かな空間になったのではないかと思います。

評価B●広場には多くの若者が待ち合わせ等で集っていた。ただし広場が有るというだけで有効利用されていたとは言い難く、半端な印象を受ける。

評価B●計画的な工夫は素晴らしいが、場所の面白さの演出に工夫があると良いと思った。

評価B●時々イベントをやっていますが、これだけの空間はなかなかこのエリアにはないので貴重だと思います。吉池は頑張って建替えた感じで、もう少し吉池らしいところが残って欲しかったが、世の流れでやむなしと思う。でも吉池食堂は眺めもよく、幅広い年齢層が楽しめる食堂で吉池らしいです。松坂屋南館は頑張った感じですが微妙で、旧館ばかり行く感じです。

評価B●駅前広場、建物内通り抜け（吉池）、歩道状空地などを事業の中で工夫して生み出し、アーバンデザインの優等生。広場はもう少し建物との関係を上手にして、賑わいを演出できれば。御徒町駅の課題は、山手線と大江戸線との乗り換えが非常に不便なことなので、動線を短く、雨にぬれず、何とかしてほしいもの。

評価B●広場空間ができたのは素晴らしいですが、ユニクロ側の出口に出来ればより使いやすかったかも？

評価B●鮭っぼさの減少が寂しい（以前は御徒町駅ホームから見えていた巨大鮭看板の復活を望む）。



歩行者専用の御徒町駅南口パンダ広場



建替えられた吉池と1階の通り抜け通路

5◆2k540 (AKI-OKA-ARTISAN)

評価:3.80 内訳●AAAAABBBBCー

評価A●どちらの駅からも離れており商業的には難しい立地だが、個性的な工房ショップを集めるというコンセプトがうまくいっており、10年経っても古さを感じさせない。

評価A●伝統工芸も先端技術も兼ね備え、地方も近隣も出店して、賑わっている。若い人たちが本物に触れる一方で、職人、作家の生活を支える場所になってほしい。江戸時代に国中から職人が集められた台東区の良さが出ており、江戸たいとう伝統工芸館の広報用分館も欲しい。

評価A●駅から遠い高架下をここまでオシャレな商い空間に整備していることに驚いた。高架の柱の柱頭がキノコ状の形になっていて、坂倉準三設計の旧日仏会館のシャンピニオンの柱に見えてきた。高架下を天井の高い半外部空間としてデザインしているところが良い。

評価A●高架下を有効に活用している。秋葉原駅から少し離れているので来客が少ないかもしれないが、御徒町駅側からもジワジワ伸びていけば賑わいは増すのではないかな。

評価A●施設そのものや雰囲気は〇。ただ秋葉原駅からの人の流れが上手く作れていず、集客がイマイチな施設。高架脇の道路を歩いても中の様子が見えずに損をしている。知らないと入らない。入れない。

評価B●ここだけ人がいませんでした。これだけの数の「手作りの店」を集めて来る努力は感服ですが、コロナ禍と重なり心配です。飲食を入れないと人がここまで来ないということか…。もう少し様子見でしょうか。

評価B●できて10年位は経っていると思いますが、古びていない感じでそこそこの賑わいもありました。駅中間の高架下活用の成功例として展開できればと思いますが、なかなか二匹目のドジョウはいない感じです。

評価B●非常に面白いコンセプトで、駅から遠いのにそこそこ集客もしていたが、両駅のエリアをつなぐ役割までにはなっていない。高架下の内部空間はステキだが、外から見ると無表情で閉鎖的な感じもする。地域産業との関係を深め、街に開かれてくるといいと思う。

評価B●穴蔵的で暗い。外部への開放性をあえて出さず閉じた空間にし、独立性を確保したのはそのエリアとは違うコンセプトを表現したかったのだと思うが、アメ横のように道に開いた方が街への拡散があったと思う。

評価C●JRは高架の面積が広く計画が色々考えられるのがいいのに、高架下の課題である暗がりやを自ら作ってしまっているのは×。入りにくい。



御徒町と秋葉原の間にある2k540



高架下に個性的な工房ショップが並ぶ別世界

6◆秋葉原高架下 (SEEKBASE+CHABARA)

評価:3.36 内訳●AAAABBBBBBCC-

評価A●SEEKBASEは変わった商品を取り扱う店舗を集めていて面白い。CHABARAは全国のアンテナショップを集めたような場所で良い企画だと思う。ここは高架脇の道路からも店内が良く見えて入り易かった。

評価A●マニアックなショップ群や高架下のホテル、全国各地の特選食品というニッチ感が面白い。空間も街に開かれた感じで興味を引く。(極私的には渋谷BEAMSからここに移ったレコファンに通い詰めてます)

評価A●飲食関係の店が入り、goodです。

評価A●ごく普通のようにいて、居心地がよい。

評価B●SEEKBASEは、少しマニアックすぎるような気がするが、秋葉原ではちょうど良いのかもしれない。

評価B●SEEKBASEは実験的な取り組みだと思う。秋葉原のポテンシャルを生かして様々なチャレンジをしてもらいたい。

評価B●SEEKBASEのテナントは秋葉原側の人の流れを考えた面白いコンセプトと思うが、途中のCHABARAのコンセプトで分断され、つながりがなく切れてしまっていないか。

評価B●SEEKBASEは初めて行きました。2k540の成功の後も様々な取り組みがありましたが、なかなか活用が難しく定着しませんでした。ホームレスが住み着いて火事を起こすなど、鉄道の高架下としては安全管理上も大きな課題でした。今日もそのような荷物の山を見かけましたが、もう一息でつながりますね。

評価B●秋葉原らしい作りではあるが、もう一つ新しさがあれば良いと思った。

評価C●微妙な感じです。物産は楽しめるはずですが、なぜか楽しい気分にならず。

評価C●通路も空調設備が入って室内と同様になり、通常の地下商店街に見えてしまう。



SEEKBASEの高架下を利用したユニークなホテル



マニア垂涎のグッズ類があふれる高架下店舗群

7◆秋葉原駅電気街口一帯(歩行者広場、デッキ、UDXビルなど) 評価:3.00 内訳●AABBBBBBBBCC

評価A●秋葉原はもともと電気街で、その後オタク文化の街になったが、今はビジネス街に変貌しつつある。駅前の広範な歩行者広場・通路の整備は、これら要素を共存させるために効果を上げているが、UDXの立派なデッキから先が街につながっていないのは残念。「時の忘れもの」のような高架下電気部品街も必見!

評価A●都会は、立地さえよければこんなに人が来るなんて羨ましいです。

評価B●秋葉原デパートが耐震補強でアトレになって営業的には厳しいのですが、イメージは大きく変わりました。やはりTXの乗り入れが大きいと思います。その後、昔、自営電力のコントロールセンターだった南口の建物がホテルになってイメージ一新が加速された気がします。

評価B●広場は、圧迫感のないデッキで立体的になって変化があるのは良い。イベントに利用されたりして、広場を確保された計画は有意義。電気街だけだと、面白いけどなんだかゴチャゴチャして疲れるので。

評価B●電気街は震災直後からの高架下利用という点では、アメ横と同様の歴史を感じる。

評価B●駅前に十分な広さの歩行者空間が確保されているが、あまり魅力を感じなかった。

評価B●駅付近は東側も西側も一変してして、かつての秋葉原駅周辺の面影は残っていない。TXのターミナル、ヨドバシ、UDXビルと大規模開発されてすでに別な街。ただし高架下の電気部品屋が並ぶあたりは昔ながらで、かつての風景そのままです。

評価B●電気の街から電子、さらにはコンテンツの街として、これからもどんどん変わっていく象徴がUDXビルであろう。

評価B●UDXは新たなビジネス創造の拠点として計画されているが、それが街の表面に現れていないのが残念。

評価B●秋葉原駅から出てUDXに至る歩廊は素敵。この時期だからかUDXの中はがらんとしている。高架下のAKBカフェはガンダムカフェに変わっていました。

評価C●UDXビルの夢ある新世界と、とめどなく活気がある旧世界たる電気街との厳しい住み分けを、広場の何もない空間が和らげている...

評価C●便利で新しいものが良いわけではない、と改めて思いました。



クロスフィールド開発とUDXビルへのデッキ



秋葉原駅西口(電気街口)の歩行者広場

8◆歩行者のための広場や通路として、良いと思う事例など

仙台市勾当台公園★定禅寺通りや一番町商店街と一体化し、週末はイベント広場となり、都心の賑わい拠点を形成。
 高田駅(新潟県)★商店街への雁木とつながっている駅前デザイン。
 宝積寺駅(栃木県)★ちよ蔵広場など駅前に車を入れず、安心な空間(広場)にしている。大谷石などの素材で楽しい。
 竜王駅(山梨県)★大きな円形の輪の屋根をかかせたことで一体感。自転車置き場などをつなげている(安藤忠雄設計)。
 東京駅丸の内駅前広場★赤レンガ駅舎を中心に丸ビル、新丸ビル、OAZO、JPタワーに囲まれ、広場の大規模な改良によって歩行者中心の良質な空間が形成された。
 丸の内仲通り★美しい街路樹と所々の面白い彫刻と一休みできる椅子。
 有楽町駅前広場★丸井前のエリアに車両を通さない広場として確保した英断と実現することができたことに今も感心してます。この英断と進められた人に感動した。
 新宿テラスシティ★小田急ハルクのカリヨン橋からモザイク通り、ミロードを経て、デッキでサザンテラスまでつながる歩行者空間。デッキ、駅の上空や線路上の人工地盤などを活用し、賑わいと変化のある空間を生み出している。
 二子玉川駅★ライズ側は2つのビルの間へと広がっていく広場を兼ねた通路。
 駒込駅東口★小さい方の出口だが、改札口から続く駅両側の商店街がまば歩行者専用化しており、便利で快適かつヒューマンな街になっている。東十条駅北口、鶯谷駅北口もそれに近い。私鉄沿線には多そう。
 吉祥寺駅・ハモニカ横丁、京成立石駅・仲見世★駅を出てマーケットをそのまま通り抜けられる動線がいい。
 巣鴨地蔵通り商店街前の歩道橋撤去★商店街入口に横断歩道が無く、国道17号を歩道橋で渡っていました。それを横断歩道に変えて、小広場も設けたのは利用者への配慮だと思います。
 鎌倉鶴岡八幡宮前段葛(だんかづら)★真ん中に歩道、車道は両端。道の真ん中からの眺望には開放感がある。
 検見川浜から稲毛海岸方面狸道(遊歩道)★道路脇の歩道があるのに隣接の緑地の中を人が歩いて道ができてしまっている。自動車排気ガスを吸わされない土の道を歩きたい。
 港北NTセンター南・北駅★改札口からいきなり広場や歩行者空間になっている。さらにいうと低密度。
 六甲アイランド駅(神戸市)★改札口からいきなり広場や歩行者空間になっている。さらにいうと低密度。
 大阪駅北口+うめきた開発★歩行者デッキ・通路が建物群の中を貫き、ショップやアトリウムを抜けて中庭に至る。
 丸亀駅前広場(香川県)★駅と広場が一体化した先進事例。
 大分駅前広場(大分県)★遊べる噴水など子ども楽しめる広場になっている。
 千早駅前並木広場(福岡市)★国道3号線からJR・西鉄駅まで歩いて抜けられる。沿道には図書館やカフェも。

9◆鉄道や道路の高架下空間の利用方法として、良いと思う事例など

南行徳メトロセンター★東京メトロだが南行徳などは高架となっており、高架下空間を商店街としている。南行徳は東西線の開通後に市街化された地域であり、メトロセンターが地域の中心的な商業機能を担っている。
 千葉駅シーワン(JR・京成高架下)★古くからなぜか人が通り、人が集まる。
 マーチエキュート神田万世橋★旧万世橋駅の歴史的遺産をうまく活用している
 マーチエキュート神田万世橋★ホーム上の店で中央線電車の通過を見たり、高架下の店で神田川を見たりしながら楽しめる。グッズもセンスの良い店が多いし、居心地が良い。
 有楽町駅から新橋駅★高架の楽しさが伝わってきます。
 東急線中目黒高架下★分節された店舗と路地の空間が面白い。
 東急線学芸大学・都立大学駅下★駅につながる専門店街で楽しい。
 京急線雑色駅・医療モール★沿線住民の方に役立つ医療など良いのではと思う。
 京急線日ノ出町～黄金町駅間の高架下★地域の開発の起爆剤であり、地域イメージの改善に役立っている。

中央線吉祥寺高架下(ロンロン)★駅直結で非常に便利。歩行者の街・吉祥寺なので、高架下と街が一体なのも魅力。中央線東小金井駅～武蔵小金井駅間★高架下350mを学生寮として整備しているとのこと。高架下が住宅として成立しているのか見てみたい。

高架下の西友ストア★西荻窪や練馬では、駅高架下に西友ストアがあり、非常に便利。

新江戸川公園(文京区)★首都高速5号線の高架下を有効活用して、駐輪場、防災倉庫、レンタサイクル、トイレ兼休憩スペースなどを整備している。太い柱脚は木堀で囲むなど木材を多用したデザインで、高架下特有の暗さが全くない。江戸川橋駅から目白台方面への歩行者通路としても、便利で快適に利用されている。

すみだリバーウォーク&東京ミズマチ★まだ歩いていないが、歩きたいと思わせる施設。

三宮～元町高架下(神戸市)★初めて見た時、これぞ高架下商店街！と思った。

近鉄鶴橋駅高架下★一帯に国際マーケットが広がり、その真ん中に改札口がある光景はとても主要駅とは思えない。

ギャレ大阪★JR大阪駅の高架下を利用した1990年代の専門ショップ街。高架下特有の低い天井や暗く狭い場所を逆手にとって、迷宮的でわくわくする面白い空間に仕上げていた(東孝光設計)。今はどうなったのか？

南海なんば駅、阪急梅田駅、西鉄福岡天神駅★都会の大ターミナル駅の高架下が街の中心施設として有効活用され、非常に賑わっている。なぜ東京のターミナル駅では、このような活用が見当たらないのだろうか。

10 ■歩行者空間の充実や高架下を有効利用したまちづくりのアイデアなど

- 歩行者空間は、一貫して歩けるかどうかが鍵のように思う。上野駅新公園口やさくらテラス、UENO3135は、歩行者空間の連続を意図している。御徒町駅前や秋葉原駅前は、整備が進んだがスーパーストリックのままなので限界がある。思い切って駅前からある程度道路を渡らずに歩ける空間をつくれないものか。高架下は、壁で囲ってしまうと個性が出にくいように感じる。中目黒高架下は、高架下に建物を分節配置しているので、それぞれの店舗の個性と路地的空間の面白さが緩和している。
- 駅前については、従来のように車のための広場の回りに歩道をつけるのではなく、広場全体を歩行者空間としてその中に最低限の車スペースをとる、ように計画論が転換されつつあり、これをどんどん進めてもらいたい。
- 連続的な歩行者デッキ(上り下りを繰り返さない)、歩車分離の交差点(対角線へ渡るのに2度横断しなくて済む)のように、歩行者の動線が途切れないところが増えればよいと思う。
- JR上野駅のアメ横口の広い道路のガード下の天井デザイン(素材)を変えるだけで、車優先のガード下の雰囲気が変わると思った。
- 透明な高架やレンガが仕上げとか素材選びをぜひ。無機質なコンクリートはボリュームとして圧迫感があるものだなと。視覚的にツタが絡んでもいいかも。街なかであれば明るくして、植物園や農産物を作って地元の食材にできたらいいなど。
- 歩行者が食べたり飲んだり、休んだりできる簡易空間が、もっと自由に(ある決まりのなかで)設置できるようになるといいですね。
- 細長い美術館。地域の情報やイベントのプロジェクションマッピング。屋根付き運動施設(歩く歩道の確保)。防災倉庫を併設した遊歩道。
- すでに一部はあると思うが、超長方形の形状、列車走行による騒音や振動を前提として、スポーツ施設や音楽施設(練習場)は良いと思う。
- 高架下だけの利用を考えても、空間上の制約(柱が多く細長い、騒音振動も相当ある)から魅力的にはなりにくいので、採算ベースの独立した利用には限界がある。駅に近いところは商店街との一体的連続性、駅から離れたところは住宅地の共用スペースなど、街に開かれた利用を求めたい。また、暗く殺風景な場所を居心地の良いスペースに変えるためには、建築設計の専門家の知恵を活かしたい。
- 駅近くの高架下は社会的資産であると言えるので、賃貸価格だけで利用用途を決めるのではなく、保育所等の子育て支援施設としての活用など、地域貢献的な利用がもっとあって良いのではと思う。
- 利用用途は立地によって異なると思うが、雨に濡れない歩行者通路を確保することは地域にとって大きなメリットになるのではないかと。また、高架化によって、それまで分断されていた線路の両側の地域間の交流が容易になることから、両地域の住民を含めたワークショップなどで利用方法を検討するのも良いと思う。
- ご参考に、JR東日本都市開発の社内誌を添付します。高架下の活用について様々取り組んでいます。中央ラインモールも大変苦労しています。

11 ■今回の企画全般についての感想など

- 上野～御徒町～秋葉原と通して歩いてみると、同じ沿線でありながら地域ごとの個性も強く、とても面白いまち歩きができました。台東区の伴さんに話を伺ったおかげで、さらに理解が深まり、街を見る視点も変わったと思います。(K/T)
- 芸術も気鋭の文化も動物も楽しめ、懐かしさも多様性も混在し、伝統もあり活気もある上野(と浅草)から秋葉原にかけての魅力的な一帯に、新しい試みが次々と起こっていることを知り、わくわくした。(I/S)

- 戦災直後からのアメ横や秋葉原駅電気街のアジア的利用から、駅から遠い高架下を最近オシャレなモノづくり工房ショップ街として整備した2k540まで、高架下利用の歴史を実感できるとも良い企画でした。御徒町駅南口にパンダ広場を生み出した敷地整序型区画整理と再開発の官民連携による活用には脱帽です。企画と話題提供いただいた大竹さん、栗原さん、伴さんありがとうございました。(H/Mn)
- 駅前や高架下を考えるととても良い機会になりました。駅前がタクシーやバスといった交通施設だけではなく、広場という概念で計画され、駅前から近隣と一体となって歩行者優先の町になることはよいことともいます。一時流行したペディストリアンデッキではなく、駅前の地べた感での広がりが良いと思いました。既存の道路は変更できないと思い込んでいたが、変更によって広場が生み出せることを知り希望が持てた。吉池食堂は庶民的で採光と眺めがよく、展望台のようで楽しかったです。(H/H)
- 今回ビル1棟レベルの建替えから道路付けまで変える街区規模の再開発を見て回りましたが、イメージを一新するという意味ではどれも成功したのではと思います。高架下の利用としては、新橋～有楽町間のJR高架下などは昔から利用されていて、形は違えども今も昔も変わらないと思いました。最新の高架下は電車の通過音が小さく気付かないレベルでした（逆に高架下っぽくないですが）。Aさんから紹介された「吉池食堂」で昼食を摂りました。ビル最上階で眺望も良く食事もしーズナブルで良かったです。ありがとうございました。「喫茶ダンケ」は満席で残念ながら入れませんでした。(F/Mk)
- 高架下では、地元の客を取ってしまったりする様な近隣に影響が出るのはNG。共存できるものを探す必要があります。アメ横で考えたのですが、長きに渡る個々の高架の使い方により、存在価値が出るのではないかと思います。どの私鉄も課題としていたなど。以前動いていた場所の立石は京成線で、当時近隣の町で高架になったら衰退した、と地元の方が話していました。その衰退したと言われた駅、高架になる前の町と両方見たのですが、構造物が視界に入るため壁のような感じで、町の分断と暗がりによる人への心理的影響があるように思いました。高さの問題?? 実際、商店街があったのに、開いている店がまばらになって勢いが落ちていました。高架にするのであれば、町にいかにかいた明るい施設にするか。住宅地エリアであれば、必要で利用したい施設を沿線周辺に作っていくことが大事かと思います。(A/A)
- 上野駅新公園口が洗練され、駅前の雑然としたビル群が立体利用と相まって魅力的になっているのに驚いた。きっと一生懸命アイデアを出した人達がいたんだと思うので、できれば発想の動機など伺いたかった。秋葉原は、電気街、UDX、高架下と、ますます雑然感??が増して、もうこのまま突き進むしかないか！ オーディオショップをうろうろしていた時代が懐かしい・・・(歳がばれますね)。ここしばらく上野には行っていなかったの、今回ステップアップした上野～御徒町～秋葉原を見れて楽しかったです。企画ありがとうございました。(F/Ms)
- 現地で歩いて評価することが本来のTEKU-TEKUであるが、コロナ禍に開催する方法として事前学習+分散型現地往訪は、今後の新しいスタイルかもしれない。しかし、懇親会ができないのは残念。今回は、オンラインで台東区の伴さんや元JR東日本の石井さんから当事者としての説明をしていただいたので、充実した現地訪問になりました。ありがとうございました。(K/Y)
- 今回の企画の発展系として、有楽町から上野までの高架下の評価ができるといいですね。(I/Y)
- 鉄道高架下にこんな豊かな空間を創造できるなんて、都会はずるいと思いました。(O/Rj)

コーディネーターより●ももとは上野駅新公園口（歩行者空間）と秋葉原SEEKBASE（高架下利用）という別々の企画だったのが、栗原さんの提案でアメ横、御徒町の広場、2k540を介して一本で歩くということになり、盛りだくさんの内容になりました。わずか3駅間ですが、歩行者空間も高架下利用も、それぞれ工夫されて多彩な街の表情を形づくっていました。オンライン企画説明の際に貴重なお話を下さった伴さん、石井さんに感謝いたします。おかげさまで大変充実した議論ができました。緊急事態宣言の狭間の1か月間に歩いて下さった皆さん、お疲れさまでした。(Ot/R)



御徒町高架下 EGG-BABY-CAFÉ



当日のまち歩き(極私的)収穫